

令和7年度 小山市立小山中学校 第3号 令和7年6月19日発行



〈教育目標〉

【自主】【健康】【奉仕】志高く 夢叶える 小山中 ～「本気・元気・根気」で逞しく 挑戦を続ける学校づくり～

学校だより

小山中学校長 林 剛

学校HP

5/23 運動会にて
「R7 おやじの会」

本校では、学びや、生活を客観視する「メタ認知力」を高めて、生徒自ら「学びに向かう力」を育み、「質の高い意志決定」ができるよう、生徒が逞しく主体的に活動することを重視しています。今後とも、保護者地域の方々の御理解と御協力をお願いします。

また、本学区では、小中一貫教育の一環として、「小学生に中学生が手本となるあいさつをすること、中学生が母校へ恩返しをすること」を目的に 生徒自ら出身校に出向き“母校でハロープロジェクト”を実施しています。今号では、運動会はじめ、「元気・本気・根気」で所属感や連帯感を深め集団の力を高める“逞しい生徒”の様子について紹介します。



5/20小山中第一小での挨拶運動



5/23 生徒主体の小山中三大行事「小山中学校春季大運動会」逞しくつかみとる最高の「笑(勝利)」

今年のスローガンは“超戦無限 咲き誇れ 逞しくつかみ取る最高の笑(勝利)”です。恒例の学級対抗運動会、笑(勝利)を目指し、学級旗を制作したり、昼休みの練習をしたりしてクラス一丸となり準備を進めました。

当日は、おやじの会の皆様の誘導や警備の下、生徒主体で春季大運動会を実施しました。徒競走、玉入れ、長縄、各学年工夫を凝らした団体種目、最後を飾る学級対抗リレーの5種目で各学級競いました。各競技の入退場を割愛したことでとても円滑に進みました。今年は、部活対抗リレーに替わり“部活動クラブ活動行進”を実施しました。参観された方からは「とても楽しい運動会でした。」とのお言葉をいただきました。代表クラスに賞を授与しましたが、全クラス“真の友情という笑(賞)”を得ました。大盛況のうちに生徒会長の挨拶で生徒主体の運動会を閉会し、実行委員長のあいさつで“超戦無限”を締めくくりました…



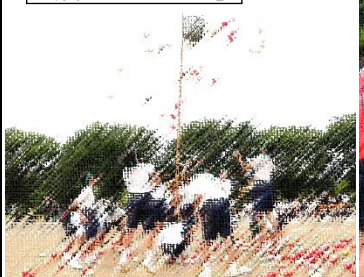
スタートは各学年「徒競走」



1年団体「台風の日」



気合いの「玉入れ」



2年団体「ローリングキャッチ」



心一つに「長縄」



3年団体「35人36脚」



「部活・クラブ行進」



フィナーレ「学級対抗リレー」



生徒会長挨拶(抜粋) ●●●●さん

…運動会は、競技として順位がつきますが、楽しく・笑顔で活動し、一人一人が成長できたという点では、今年のテーマにもありました、小山中全体の笑(勝利)であると思います。この経験が、これからの生活や行事につながり、さらに、素敵な思い出となることを願っています。

実行委員長挨拶(抜粋) ●●●●さん

…助け合い、応援し合い、支え合いながら過ごしたこの日は、忘れることのない思い出になったと思います。今回の運動会で学んだたくさんの方のことを、これからの学校生活やさまざまな場面で生かしていきたいと思います。

最後に、ご指導くださった先生方、協力してくださった保護者のみなさま、本当にありがとうございました。

… のはずが、生徒からの感謝の言葉と校長胴上げというサプライズが待っていました。こちらこそ感謝の気持ちで一杯です！

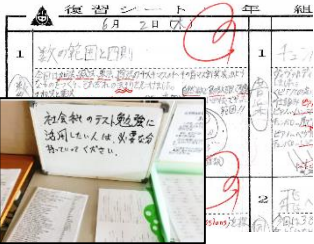


学習委員会による「目指せ学力向上!」(抜粋)

小山中では学力をつけていくための道筋を掲げています。それは「小山中 学びの焦点」です。そして、自分を高める、「メタ認知」が大切です。毎日「学習シート」を活用しましょう。さらに、学習強調週間中は毎朝前日の家庭学習時間をタブレットで入力します。授業では「1分前着席・立腰」「忘れ物なし」をサポートします。

小山中学びの焦点

- ①私は、何を学んでいるのか
- ②私は、どのように学んでいるのか
- ③私は、何ができるようになったか
- ④私は、自分をどのように高めるのか
- ⑤私は、どこに助けを求めればよいのか



保健委員会による「健康の自己管理」(抜粋)

小山中では、登校してきた後、健康観察を各自タブレットで実施することになりました。毎朝必ずアクセスしましょう。

また、二週間ごとに衛生検査を実施し、ツメとハンカチをチェックしていきます。

健康観察も衛生検査も健康の自己管理です。病気にならないように自己管理能力を育みましょう。

6/4 「小山市いじめ子どもゼロサミット」を受けた取組
テーマ 誰もが自分らしく安心して生活できる学校
～ 「いじり」について考えてよう ～

5/27 市内児童生徒代表が集う「第13回小山市いじめゼロ子どもサミット」に市村倅さんと小貫千駿さん参加しました。「いじり」が「いじめ」につながるかもしれないことをそれぞれのグループで考え、どうすれば安心して生活できる学校にできるかなど話し合い、意見を上手にまとめ上げました。



代表 ●●●さん

いじめにつながり兼ねない「いじり」はしないクラス、学校づくりが大切であるということ学びました。人がいやる「いじり」をなくすことで、自分にできることから始めたいと思いました。今日を機会に、いじめゼロに向けた第一歩としたいと思います。

代表 ●●●さん

「いじり」は人の個性を否定するもの。いやな思いをしていても場の空気に流されて「いやだ」と言えません。「自分の気持ちを言いやすい」「相手の気持ちを考える」環境づくりが大切だと感じました。「いじり・いじめ」を見逃さず、人の気持ちに寄り添える学校にしたいです。



小山中ではこれを持ち帰り、6/4 いじめゼロ集会で全校で共有しました。その後、各学級レベルで「いじりゼロ3か条」など話し合い、いじめの防止や早期発見などにつなげることにしました。



6/11 生徒進行で伝統文化ふれあい教室を実施しました

小山市教育委員会、小山市文化協会のご協力で、全校生徒、日本古来の伝統芸能文化「能楽」に触れることができました。小山能楽振興会の8名の会員様にご出演いただき、貴重な体験や迫力ある能の舞を目の当たりにしました。会員の方からは「生徒の反応がよく、とてもやりやすかったです。」とお褒めの言葉をいただきました。



6/18 職員研修「おやじの会立ち上げの経緯と生徒指導」

初代おやじの会会長で元PTA会長の沢登 剛 様を3年連続で講師にお招きし、「おやじの会立ち上げの経緯」についてご講話をいただきました。当時の通常の教育が困難な様子や、「逃げる
こと無く向き合うこと」で生徒が沢登様に心を開くまでに至った経緯など、「信頼こそ教育の原点」であることを確認させていただきました。皆様の弛みない努力と多大なる協力があり、今の本校があること、問題行動の未然防止を行うことはもとより、**自己指導能力**を普段から育てること即ち本校の柱である生徒の「**メタ認知力**」の育成を本気になって高めることに、職員一同決意を新たにすることができました。



〈栄誉を称えて〉支部大会での水泳競技の活躍 (前号続き)

男子 4×100m 水泳リレー・4×100m フリーリレー 第3位

●●●さん ●●●さん ●●●さん ●●●さん

200m 自由形 第1位 ●●●さん

200m 背泳ぎ 第3位 ●●●さん

100m 平泳ぎ・200m 平泳ぎ 第2位 ●●●さん

50m バタフライ 第3位 ●●●さん

女子 4×100m 水泳リレー 第1位、4×100m フリーリレー 第2位

●●●さん ●●●さん ●●●さん ●●●さん

100m 背泳ぎ 第3位 ●●●さん

50m 平泳ぎ 第3位 ●●●さん

200m 平泳ぎ・200m 個人水泳 第2位 ●●●さん